

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃腫瘍のゲノム・遺伝子解析とその臨床病理学的意義の解明
	研究目的	本研究では、胃腫瘍組織及び非腫瘍部のゲノム・遺伝子解析で得られた胃腫瘍関連遺伝子について、各種胃腫瘍、非腫瘍性胃病変における遺伝子発現、局在、動態を明らかにし、治療効果、予後を含めた臨床病理学的指標との関連性について検討する。このことにより、胃腫瘍の診断、治療に応用可能な分子標的を見出すことが目的である
	研究期間	西暦 2016 年 8 月 4 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	横浜市立大学外科治療学 主任教授 益田 宗孝
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科胃食道
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学外科治療学一般外科 利野 靖 東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス 油谷 浩幸 東京医科学研究科人体病理学 牛久 哲男